

歴史まちづくりに関する高岡市の取組 ～取り組みの現状と成果～



国宝 瑞龍寺

計画策定の背景

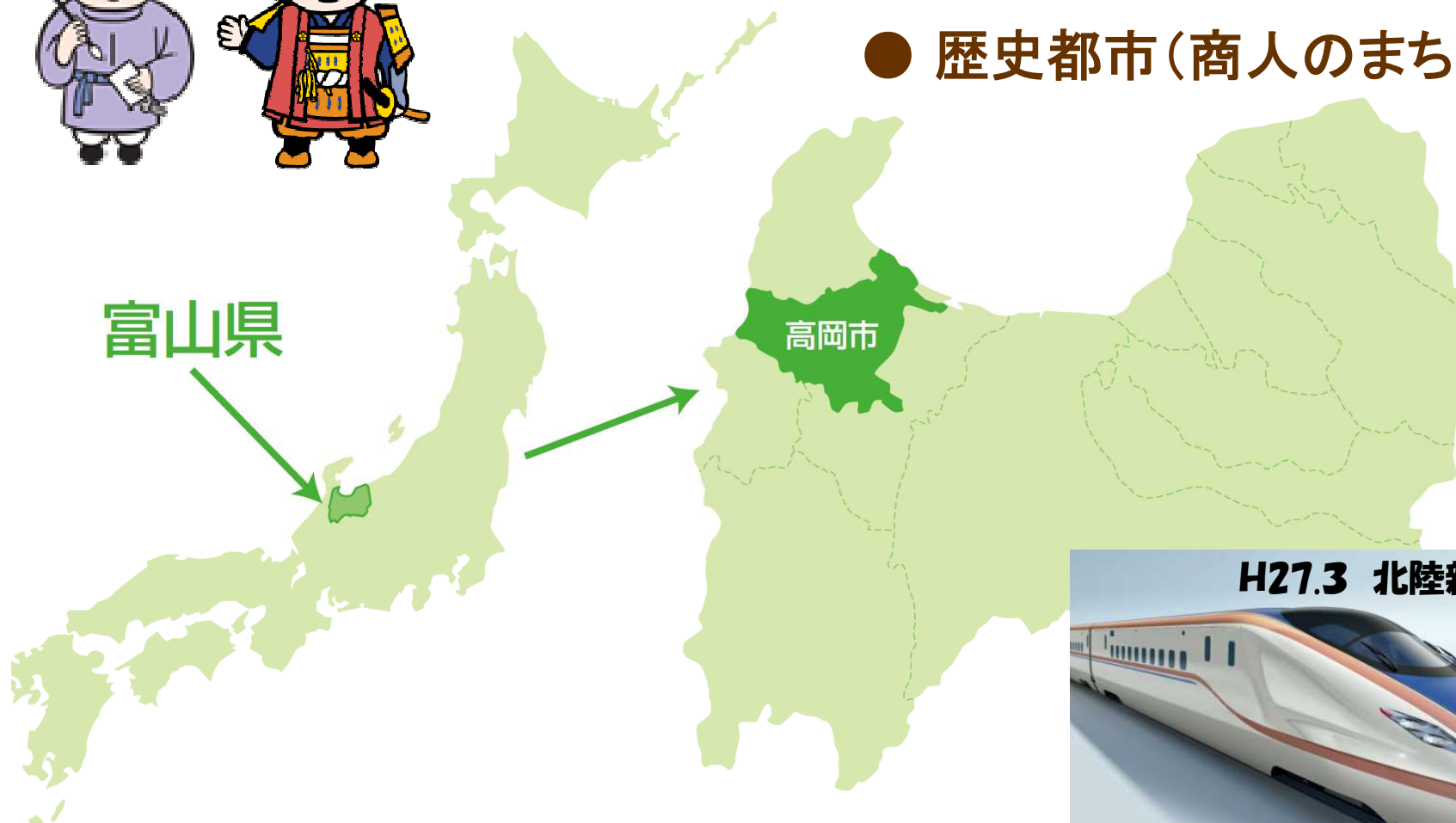
マスコットキャラクター

家持くん 利長くん



高岡市の概要

- H17に旧福岡町と合併
- 面積 209.57km²
- 人口 175,061人 (H27.3)
- 歴史都市(商人のまち)



H27.3 北陸新幹線開業



雨晴海岸

〔 富山湾は、平成26年に世界で
最も美しい湾クラブに加盟 〕



庄川、小矢部川



散居村

奈良時代

746年 市北部の伏木に越中国（現在の富山県）国府
万葉集の歌人 大伴家持が国守として在任
古くから政治・経済の中心

江戸時代

1609年 加賀藩 2代藩主前田利長により開町（城下町）

1614年 前田利長死去

1615年 一国一城令で廃城

その後、3代藩主前田利常の商業振興策により
「加賀藩の台所」、「商人のまち」として発展

明治～昭和時代

非戦災都市、産業都市（銅器、アルミ産業等）として発展₄

歴史まちづくり計画の策定経緯

H20.11 歴史まちづくり法 施行

H21.9 開町400年記念イベント
(2009年)

H22.1 計画策定の取り組み開始

H23.3 計画策定 (計画期間H23~32)

H23.6 国の認定



市の目指す方向性

○ 高岡市総合計画

「歴史と文化をたのしむまち」

- 歴史・文化資産の保存と活用、伝統技術の保存・継承
- 歴史・文化を磨き、市民の活動をつなぎ新たな市民文化を創る

「ものづくりの技と情熱がつくり出すにぎわいのまち」

- 地場産業の振興、後継者の育成、新たな産業の創造

○ 歴史まちづくり計画

- ・ 「**工芸技術**」と祭礼・年中行事の「**継承と育成**」
- ・ 歴史的建造物の保全と活用
- ・ 歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

歴史的風致

重点に取り組む区域

重要文化財 勝興寺



伝建地区 山町筋



伝建地区 金屋町



国宝 瑞龍寺



国史跡 前田利長墓所



歴史的風致

商人のまちと祭礼行事

鑄物のまち金屋



山町筋（土蔵造りのまちなみ）
重要伝統的建造物群保存地区

金屋町（千本格子のまちなみ）
重要伝統的建造物群保存地区



土蔵造り（菅野家）



木舟町車輪



鑄物製品

歴史的風致

北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事



歴史的風致形成建造物
(旧伏木銀行)



吉久の町並み



伏木曳山祭 (けんか山)



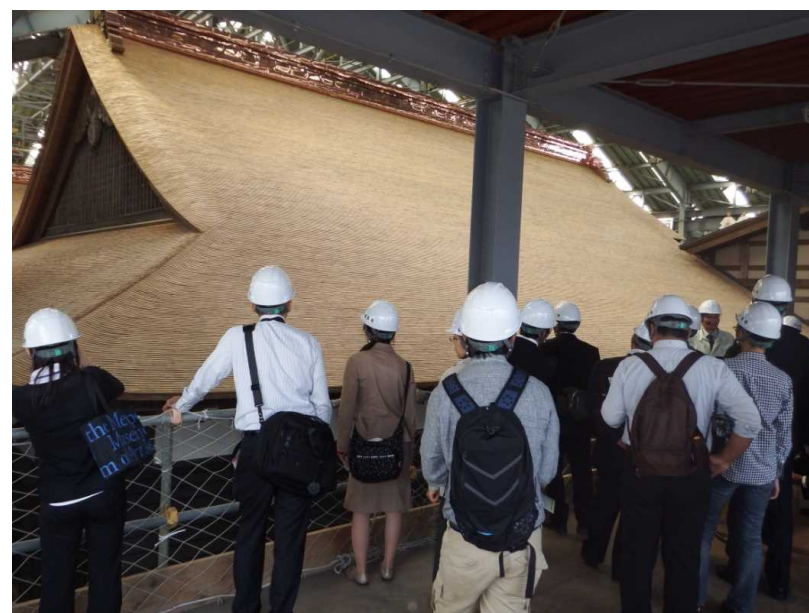
獅子舞

勝興寺大広間及び式台ほか 11棟保存修理事業

- 事業期間
H10～16（第1期：本堂）
H17～32（第2期：大広間及び式台ほか11棟）
- 事業主体 宗教法人勝興寺



勝興寺本堂



現場見学会の様子

高岡御車山会館建設事業

- 重要有形・無形民俗文化財「御車山」を常に展示
- 事業主体（年度）：高岡市（H23～26）
- 平成の御車山を制作中（H25～29）



外観



内観（御車山展示）



平成の御車山デザイン

次世代型ものづくり人材育成事業

- ・ 伝統工芸産業に関わる人材育成
- ・ S43から養成スクール事業を実施
- ・ H26～最先端技術を活用したコース開設



養成スクール（金工）



養成スクール（漆工）



3D造形コース（作品例）

ものづくりデザイン科推進事業

- ・国の「モノづくり・デザイン人材育成特区」指定
- ・伝統工芸（漆器、銅器等）の体験を通じた学習
- ・小学校5・6年、中学校1年を対象
- ・総合学習等の時間35時間／年を充てる



授業の様子

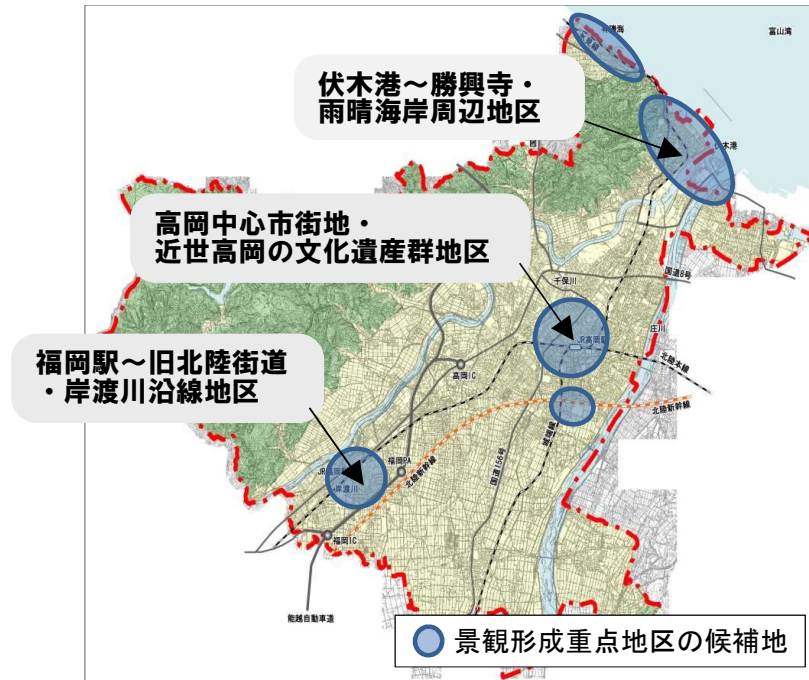


作品展示

歴史まちづくり関連事業

景観施策の推進

- H 3. 3 景観形成基本計画の策定
- H 1 8. 7 景観行政団体へ移行
- H 2 3. 3 景観計画の策定、景観条例の施行



景観計画区域－全域

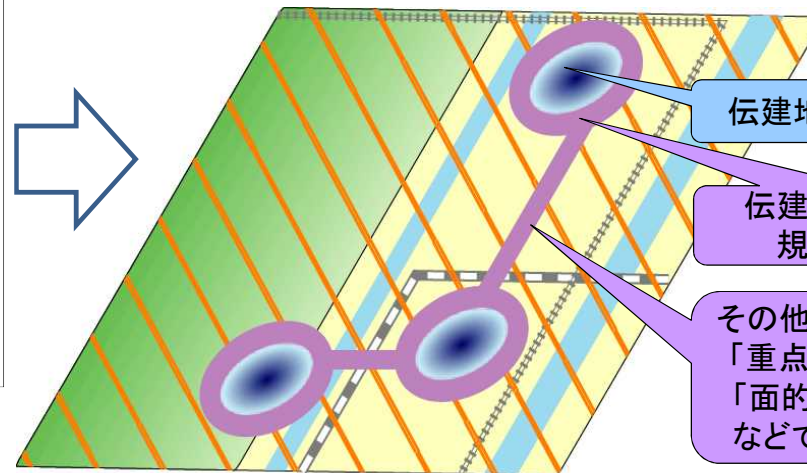
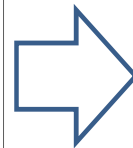
(関連施策) 景観住民協定の例



坂下町通り



勝興寺寺内町通り



景観形成重点地区

(積極的に景観誘導を行う地域)

⇒ 一般住宅についても詳細な景観基準で景観誘導

重点景観隣接地区

重点地区をとりまく市域全域とのつながりをもった地域

⇒ 一般住宅について重点地区よりも緩やかな基準で景観誘導

景観形成重点地区の例



池之端通り



旧北陸街道

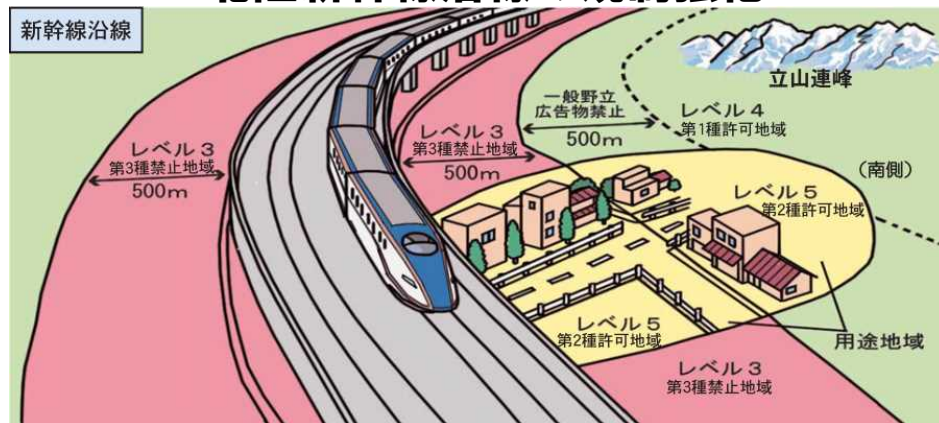
歴史まちづくり関連事業

屋外広告物の施策

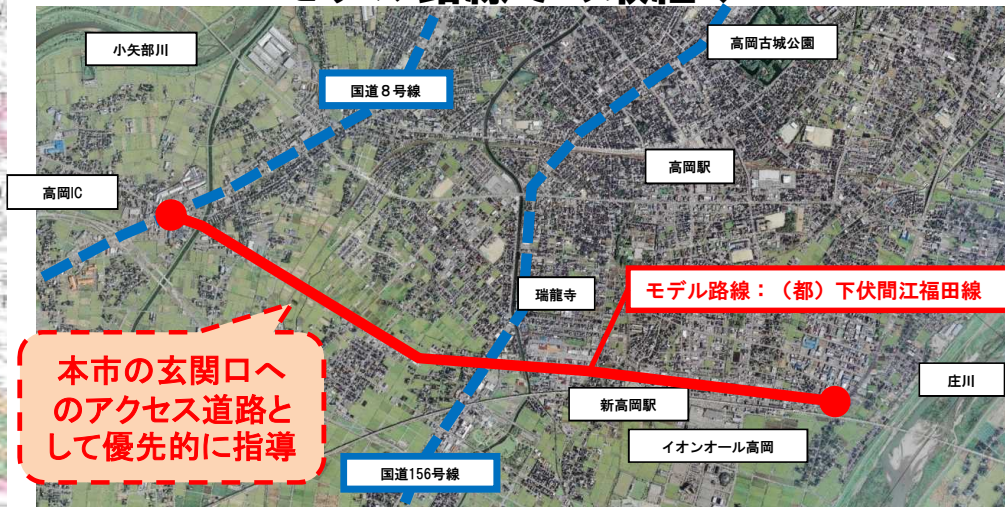


規制概要図

北陸新幹線沿線の規制強化



モデル路線での取組み



景観広告とやま賞



歴史まちづくりの効果

景観住民協定の締結



まちあるき ワークショップ

景観

その他

(様々な取り組み)

- ・勝興寺で、鋸引き体験
- ・通りを行燈や花によるおもてなし事業

(建築物の改修等への補助制度)

- ・要する経費の1/2(限度額400万円)
- ・その他、活動に対する補助(限度額40万円)

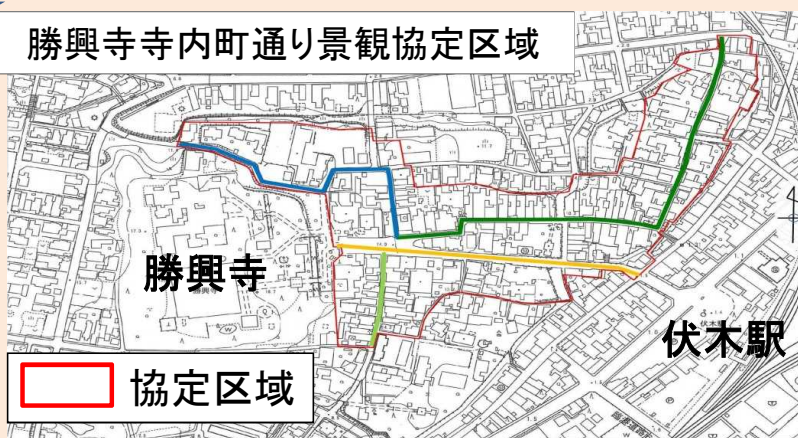
行政
支援

—勝興寺に通じる参道として 歩いて楽しいまちづくり協定書— (協定の目的)

建築物の整備基準を定め、勝興寺の寺内町として、風情漂う落ち着いたまちに相応しい町並み景観づくりに進め「勝興寺に通じる参道として歩いて楽しいまち」を実現すること

(景観整備の基準)

協定者は、協定区域内で建築物の新築、増改築または修繕を行う場合、「勝興寺寺内町通り景観委員会」に行為の届出、委員会で審査



勝興寺参道



旧参道

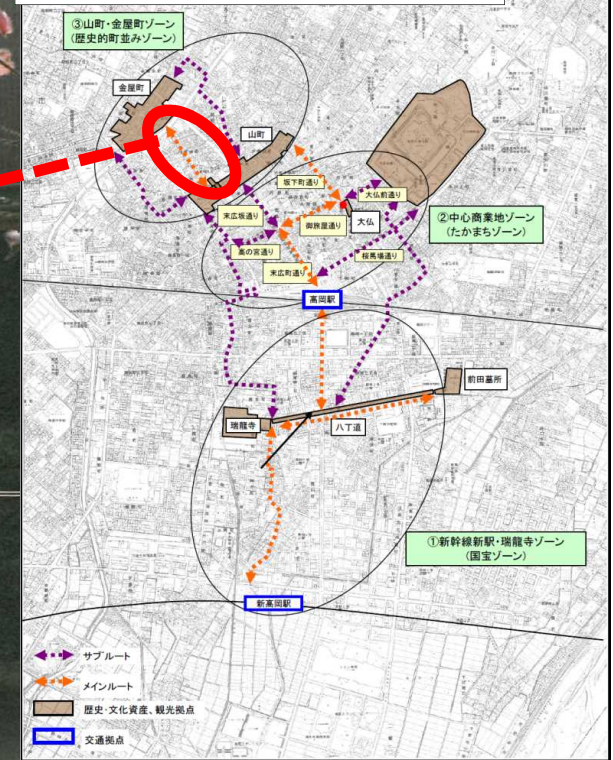
歴史まちづくりの効果

住民、団体の連携

行政の取り組み（道路修景）に併せた、
「まちづくり協議会」の設立
→通りの活性化（修景、休憩施設）を目的



高岡ストリート構想(H24.3)



行政
支援

- (店舗の開業支援)
- ・取得費・改装費の1/5補助
(限度額200万円)
- ・その他、賃借料等の補助

「高岡・ひと・まち・交流会」の発足（観光団体の連携）

- ・瑞龍寺夢参道まち衆会
- ・高岡大仏周辺街づくり協議会
- ・土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会
- ・金屋町まちづくり協議会

→志を持ち高岡を愛する人が集い、高岡の未来を考える場

歴史まちづくりの効果

平米町



記念行事(平米町)



獅子舞

旧町名の復活

袋町



記念行事(袋町)



石柱の設置

主な構成文化財



高岡御車山



高岡城跡



高岡鋳物の製作用具及び製品



山町筋重要伝統的
建造物群保存地区

(文化庁HPより抜粋)



JAPAN HERITAGE

日本遺産



今後の課題

○ 計画後半(H27~32)の事業の推進

- ハード整備(保存中心)から、資産の活用へ
ハード(建造物や町並み)の保存に加え、活用(観光振興など)

○ 他都市との連携の強化

- 近隣都市との広域連携
広域連携での歴史まちづくりの取り組み(加賀藩前田家(高岡、金沢))

○ 景観施策との連携、充実・強化

- 景観計画の変更
景観形成重点地区の指定、景観形成基準の強化

○ 計画期間以降の取り組み

- 新たな価値の創出(文化創造都市)
ものづくりなどの伝統工芸を活かし、新たな価値の創出